

事業実績書

事業名	街中だがしや楽校 2018in めまづ	
場所	沼津市仲見世商店街・新仲見世商店街地内	
期間	平成29年 7月 5日 ~ 平成30年 3月20日	
	日程	実施項目・作業項目
事業 内 容		<p>●実施内容</p> <p>「お手伝い（体験）～お駄賃（報酬）～駄菓子屋での購入」という、かつてあった駄菓子屋を取り巻く環境を再現。</p> <p>◎「キッズハローワーク」</p> <p>仲見世、新仲見世の実店舗、外部出店ブース、なかみせステージなどに、募集する仕事を記載した求人票を掲示。子ども達が仕事を選ぶ。</p> <p>◎「仲見世、新仲見世の実店舗、外部出店ブースでのお仕事体験」</p> <p>15分を1クールとしてお仕事体験。仕事内容は店舗によって異なり、そうじ、呼びこみ、POPづくり、接客などを行う。仕事完了時にお店の人からお駄賃（報酬）として仮想通貨「めまづダラ」をもらう。</p> <p>◎「ワークショップ」</p> <p>出展者の指導を受けながらものづくりやアートなどの体験をする。終了時に「めまづダラ」をもらう。</p> <p>◎「なかみせステージ」</p> <p>音楽やダンスなどを上演。ステージまわりの仕事（司会や拍手係等）を体験することで「めまづダラ」をもらう。</p> <p>◎「だがしやマーケット」</p> <p>お仕事や体験をして得られた「めまづダラ」で駄菓子を購入する。新仲見世の空き店舗を活用した。</p> <p>●参加対象</p> <p>沼津市及び周辺市町の小学生。沼津市、三島市、長泉町、清水町の各教育委員会の後援を受け、小学校にチラシを配布した。ワークショップは年齢に関係なく体験可能とした。</p> <p>●人員配置・役割分担</p> <p>別紙実行委員会組織図参照</p> <p>実行委員会は仲見世・新仲見世商店街、青年会議所、商工会議所青年部、三島開催の経験者、沼青振のメンバーで構成した。</p> <p>仲見世商店街18店舗、新仲見世商店街4店舗で職業体験を受け入れ。外部出店者×16、ワークショップ×15。ステージ出演8組、スタッフ52名（実行委員26名、当日応援7名、企業応援5名、学生ボランティア（沼津情報・ビジネス専門学校、大原学園、加藤学園暁秀中高）14名）</p> <p>●会議・打ち合わせ等</p> <p><実行委員会></p> <p>①10月30日（顔合わせ・前回開催の振り返り・方向性、スケジュール確認）</p> <p>②11月27日（協賛、後援依頼）</p> <p>③12月26日（協賛、後援、出店、出演とりまとめ）</p> <p>④1月15日（キッズハローワークのオペレーション、チラシ、役割分担）</p> <p>⑤2月5日（キッズハローワークのオペレーション、出展者説明会について）</p> <p>⑥2月26日（人員配置、備品確認）</p> <p>⑦3月23日（反省）</p>

事業内容

<役員会議> (実行委員会開催前に事前準備・方向性の確認を行なった)
 ①10月13日 ②10月28日 ③11月13日 ④12月22日 ⑤1月12日
 ⑥2月2日 ⑦2月11日 ⑧2月22日 ⑨3月16日

<その他>

8月27日 三島だがしや楽校にブース出展
 10月28日 第1回開催のポスターセッション
 10月30日 特別協賛の依頼(沼津信用金庫)
 11月～ 出店、ワークショップ、ステージ出演者募集、協賛・後援依頼
 11月～ ボランティア協力依頼
 12月 仲見世・新仲見世店舗に開催告知、挨拶と説明
 1月上旬 事前チラシ、ポスター作成
 1月 広報沼津に原稿提出
 1月19日 第3回開催に向け民間支援まちづくりファンドに申請
 1月26日 チラシ仕分け～小学校へ配布
 2月18日 第3回開催に向け民間支援まちづくりファンドプレゼン
 2月20日 出展者説明会
 2月下旬 当日チラシ作成、横断幕・スタッフジャンパー追加作成
 2月下旬 沼津警察署に道路使用許可申請 沼津消防署に火気使用申請
 2月下旬 既存店仕事内容決定
 3月3日 前日準備

<PR・告知>

2月15日 広報沼津
 2月20日 しずおかナビっち
 2月27日 コーストFM出演
 3月1日 ボイスキュー出演
 3月2日 静岡新聞
 3月3日 読売新聞

事前配布 A4 チラシ 24000部 (沼津市・三島市・長泉町・清水町の全公立小学校に配布)
 A2 ポスター 200部
 当日配布 A3 チラシ
 ホームページ (<https://dagashiyanumazu.jimdo.com/>)

●前日～当日スケジュール

(3月3日)

16:00 実行委員会メンバー集合 事前準備
 20:30 解散

(3月4日)

7:00 実行委員会メンバー集合
 8:00 ボランティア受け入れ、外部出店・ワークショップ搬入
 9:45 開会式
 10:00 お仕事・体験スタート
 14:30 お仕事・体験終了
 15:00 だがしやマーケット終了
 15:10 閉会式
 15:20 撤収開始
 17:00 撤収終了



<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会前から多くの来場者があり、付き添いの大人も含めて 4000 人ほどの来街者があった。 ・ 商店街というオープンな場所で行ったことで、多くの一般の方の目に留まり、子ども達にアドバイスや励ましの声を掛けていただいた。 ・ 仲見世、新仲見世の実店舗に協力を依頼した。前回の反省からキッズハローワークでの仕事紹介の手順の見直し、タイムスケジュールの明確化、チラシ配りなどの簡単な仕事の集約などを行い、店舗の受け入れ負担を軽減した。子どもでも売れる商品を用意する、子ども用のユニフォームを用意するなどこの事業のために独自に工夫をしてくれた店舗も多かった。 ・ 普段は商店街に来ない人も参加し、これまで足を踏み入れたことのなかった店においても、店主・店員とのコミュニケーションを取ることができた。保護者からは「こんな店があったんだ!」「ここはこういうものを売っていたのか!」という声もあり、多少なりとも商店街の認知度アップに繋がった。今後の来街に期待したい。 ・ ワークショップでは子ども達にプロの仕事、職人の技に触れてもらうことができた。実店舗では”売れない”苦労も味わってもらったが、元氣よく声を出す、遠くまで売り歩く、付き添いの大人に売るなど自主的に工夫をしている子どももあり、ひたむきな姿に感銘を受けたという店主もあった。 ・ 多くの子どもがだがしやマーケットで交換するものをよく吟味し、働いたことの対価として得られたものを大切にしようとする姿が多く見られた。 ・ 三島だがしや楽校実行委員会とはお互いの開催に出展し、協力関係が深まった。また、10月のポスターセッションでつながりができた団体の出展など新たなネットワークが広がった。
-------------	--

<p>自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の反省を生かし、キッズハローワークを1カ所から3カ所設置することによって、混雑の緩和、受け入れ店舗・出展者の負担軽減といった改善点がうまく機能した。 ・ 子ども達の安全確保のために人手が必要だったが、学生を含めて多くのボランティアの協力を得ることができた。 ・ 新たな協賛7社。第3回開催へ向け今回の成果を早い段階から発信し、協賛社を増やしていきたい。 ・ 今回初めてアンケートを実施した（集計は別紙）。子ども達のやりたい仕事を拡充し、楽しみながら学べるという効果をさらに高めていく。 ・ 体験している子ども達に比して一般客が少ない。子ども達の実践機会を増やすために、また店舗・出展者の売上に結びつけるために、商店街と連携した集客のための施策が必要。
-------------	---